

地域と大学

——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要——

第3号 2023年3月

巻頭言 地域と大学教育への思い……………城西短期大学副学長 白幡晶	1
【論文】	
地域連携を活かすための政策提言 ——地域と協働する関係者・関係機関に求められる資質とは—— ……柳澤智美・堀由美子	4
【地域教育実践報告】	
学園祭の模擬店運営を通じた「地域教育」の試み ——城西大学・短期大学三國ゼミナールの活動記録—— ……三國信夫	18
地域連携PBLの活動報告——2022年度の主なプロジェクトの振り返りから—— ……勝浦信幸	27
地域ショッピングモールにおける食育推進プログラム ——折り紙・かるたを活用して—— ……深谷睦・山田沙奈恵・山王丸靖子	41
2022年における城西大学経営学部石井ゼミナールの活動 ……………石塚航貴・加藤太一・門仲聖・神田莉久・杉山侑矢・砂野歩 ……………諏訪真大・寺内なつみ・藤村和洋・堀越深太・石井龍太	47
高校生参加型研究室インターンシップの取り組み ——地域へ研究室をひらく—— ……片倉賢紀・古旗賢二	57
【地域連携活動報告】	
「鶴っ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業」 ——大学生の学習指導補助体験談—— ……足立拓哉・上田一斗・請地貴史・渡辺沙織	65
【地域調査報告】	
世界遺産登録による都市の変容——富岡製糸場を事例として—— ……………土屋正臣・中嶋俊貴・安部隼平・伊澤陸斗・小川廉・小寺翔馬 ……………川上美優・岸遼河・櫻井敬太・島田享樹・竹村諒大・三澤柚太	69
【地域情報】	
1枚の写真絵はがきの検討 ……加藤寛之	72
聞き書き 天狗の声 ……平井亜未(聞き取り) 横田弥三郎・黒澤清三郎(話) 加藤寛之(解説)	79
【地域活動ノート】	
管理栄養士養成課程学生による越生町梅農家シェアキッチンにおけるワンデイカフェの取組 ……………中里見真紀・山田沙奈恵・君羅好史・真野博・内田博之	82
小川町におけるメディアミックスによる観光プロモーションの取り組み……小泉亮汰・遠藤柊一	84
折り紙を活用した食育推進プログラムに参加して ……………鶴岡茉里菜・黒須美月・依田菜奈・小池大河・小山昂輝 ……………牧野彩香・山田沙奈恵・深谷睦・山王丸靖子	86
第16回薬局管理栄養士研究会の活動報告 ——薬局管理栄養士の真価～どのように価値創出すべきか—— ……………藤田智子・小口淳美・内山貴雄・川戸麻紀・奥寄沙恵・宮代由佳・柳岡祐治 ……………堀由美子・君羅好史・松本明世・真野博・清水純・内田博之	88
城西大学ローターアクトクラブの取り組み——西坂戸を中心とした活動の報告—— ……田口幸多	90
【講演録】	
公民館事業「かるかや大学・浅羽野」での講演から思うこと ——地域との繋がり大切さ—— ……沼尻幸彦	92
英国・アイルランド文学とパンデミック——ペストとスペイン風邪を中心に—— ……伊東裕起	96
第41回(2022年度)城西大学公開講座——新型コロナウィルスとは?—— ……森田勇人	111
2022年度 城西大学・城西短期大学の地域連携・地域活動	115
『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要』投稿規定	132
編集後記	134

Journal of Josai Community Liaison Center

No.3 March 2023

CONTENTS

Preface	SHIRAHATA Akira	1
[Article]		
A Policy Proposal For Regional Collaboration: Ideal Attributes of Collaborators and Agencies	YANAGISAWA Tomomi, HORI Yumiko	4
[Reports]		
Trial of "Community Education" through School Festival Booth Management - Activity record of Josai University and Josai Base College Mikuni Seminars -	MIKUNI Nobuo	18
Activity Report of PBL with Community Collaboration - Based on the review of major projects in 2022 by seminar students	KATSUURA Nobuyuki	27
Program to promote food and nutrition education (<i>Shokuiku</i>) at local malls - Using <i>Origami</i> and <i>Karuta</i> -	FUKAYA Mutsumi, YAMADA Sanae, SANNOMARU Yasuko	41
Activity Report in 2022 about Ishii Seminar, Faculty of Management, Josai University	ISHIDUKA Koki, KATO Taichi, KADO Noa, KANDA Riku, SUGIYAMA Yuya, SUNANO Ayumu, SUWA Mahiro, TERAUCHI Natumi, FUJIMURA Kazuhiro, HORIKOSHI Keita, ISHII Ryota	47
Laboratory Internship Program for High School Students	KATAKURA Masanori and KOBATA Kenji	57
Experience Report of the Self-study Support Project "TSURUKKO Summer School" in Tsurugashima-city	ADACHI Takuya, UEDA Kazuto, UKECHI Takafumi, WATANABE Saori	65
Urban Transformation through World Heritage Registration - The Case of Tomioka Silk Mill -	TSUCHIYA Masaomi, NAKAJIMA Toshiki, ABE Shunpei, IZAWA Rikuto, OGAWA Ren, ODERA Shouma, KAWAKAMI Miyu, KISHI Ryouga, SAKURAI Keita, SHIMADA Ryouju, TAKEMURA Ryouta, MISAWA Yuta	69
[Information]		
Examination of a picture postcard photo	KATO Hiroyuki	72
Voice of "Tengu"	HIRAI Ami, YOKOTA Yasaburo, KUROSAWA Seizaburo, KATO Hiroyuki	79
[Notes]		
Efforts of a one-day cafe at shared kitchen of Japanese plum farmer in Ogose Town by training course students of registered dietitian	NAKASATOMI Maki, YAMADA Sanae, KIMIRA Yoshifumi, MANO Hiroshi, UCHIDA Hiroyuki	82
Efforts for tourism promotion through media mix in Ogawa Town	KOIZUMI Ryota, ENDO Shuichi	84
Participating in a program to promote food education (<i>Shokuiku</i>) using <i>Origami</i>	TSURUOKA Marina, KUROSU Mizuki, YODA Kannna, KOIKE Taiga, KOYAMA Koki, MAKINO Ayaka, YAMADA Sanae, FUKAYA Mutsumi, SANNOMARU Yasuko	86
Activity report of the 16th Study Group on Pharmacy Registered Dietitians - The true value of a pharmacy registered dietitian - how to create value -	FUJITA Tomoko, OGUCHI Atsumi, UCHIYAMA Takao, KAWATO Maki, OKUZAKI Sae, MIYASHIRO Yuka, YANAOKA Yuji, HORI Yumiko, KIMIRA Yoshifumi, MATSUMOTO Akiyo, MANO Hiroshi, SHIMIZU Jun, UCHIDA Hiroyuki	88
The activity of Josai University Rotaract Club - Report of activity with a focus on Nishisakado area -	TAGUCHI Kota	90
[Lecture Records]		
Some thoughts after giving a lecture at the Asabano Community Center project "Karukaya College for the Elderly" - The importance of connections with communities -	NUMAJIRI Sachihiko	92
British-Irish Literature and the Pandemic: Focusing on the Plague and the Spanish Flu	ITO Yuki	96
The 41 st (2022) Open Lecture at Josai University - What is the COVID-19 ?-	MORITA Eugene Hayato	111
Annual Report 2022		115
Postscript		134

地域と大学

—城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要—

第3号

2023年3月

城西大学・城西短期大学 地域連携センター

『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要』投稿規定

1. 目的

『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要 (Journal of Josai Community Liaison Center)』(以下「紀要」)は、城西大学・城西短期大学地域連携センター(以下「地域連携センター」)ないしは本学の地域活動・地域研究により蓄積された成果を掲載し刊行することにより、地域連携および地域を舞台とした教育・地域を対象とした研究を促進することを目的とする。

2. 発行

- (1) 紀要は年1回発行する。
- (2) 紀要の編集は、地域連携センター内に設置する紀要編集委員会(以下「編集委員会」)が取り扱う。
- (3) 編集委員会は、編集長1名と編集委員1名以上、および担当事務員1名以上から構成される。
- (4) 編集長および発行責任者は、地域連携センター所長または副所長とする。
- (5) 編集委員は、地域連携センター運営委員の中から選任する。

3. 投稿・掲載区分

- (1) 紀要に投稿・掲載する原稿は、ひろく地域に関するテーマで執筆された未刊行のものであり、以下の①～⑤の区分のものとする。
 - ①論文
 - ②地域調査報告
 - ③地域教育実践報告
 - ④地域活動ノート(1件につきA4サイズ横書き日本語で2頁以内)
 - ⑤その他(地域連携報告、地域情報、地域資料、講演録、書評など)
- (2) 執筆者は、投稿時に希望の区分を提示する。
- (3) 使用言語は、区分④以外は特に定めない。
- (4) 字数または枚数制限および横書き・縦書きは、区分④以外は特に定めない。

4. 執筆資格

- (1) 城西大学・城西短期大学の教職員・事務職員：専任・非常勤を問わず、上記区分の全てを執筆・投稿することができる。
- (2) 城西大学・城西短期大学名誉教授および定年退職者：上記区分の全てを執筆・投稿することができる。
- (3) 城西大学・城西大学大学院・城西短期大学の在学生：上記区分④を執筆・投稿することができる。なお、城西大学大学院博士後期課程在学者は、上記区分③以外の全てを執筆・投稿す

ることができる。

※その他、卒業生や学外者等であっても、上記の資格者との共著であれば当該区分を執筆・投稿することができる。また、編集委員会が特に認めた者は、単著で執筆・投稿することができる。

5. 執筆要領

- (1) 使用言語および分量は、投稿区分④以外は特に定めない。
- (2) 文章は原則として黒字だが、特に必要な場合は図・表・写真などにカラーを使うこともできる。
- (3) 申込後、掲載可となった場合は、別に定める区分ごとの「執筆要領・フォーマット」に基づいて掲載用原稿を執筆する。

6. 執筆・掲載の採否

執筆および掲載の採否については、編集委員会が決定する。

7. 発行形態および公開

- (1) 紀要は、電子ファイル（オンライン版）および冊子にて発行する。
- (2) 電子ファイルは、地域連携センターホームページおよび城西大学機関リポジトリ（JURA）からインターネット上に公開する。

8. 著作権

- (1) 掲載された著作物の著作権は、著作者が保持する。
- (2) 掲載された著作物の著作者は、当該著作物に関する複製および公衆送信を編集委員会に対して許諾したものとみなす。編集委員会が複製および公衆送信を第3者に委託した場合も同様とする。

9. 投稿料・原稿料等

- (1) 投稿者から投稿料は徴収しない。
- (2) 執筆者に対して、原稿料は支払わない。
- (3) 執筆者には冊子を1部進呈する。なお、追加の冊子および抜き刷りは、希望者に実費で提供する。

2022年6月23日改訂
城西大学・城西短期大学地域連携センター 紀要編集委員会

編集後記

『地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要——』は、本学の地域活動・教育研究により蓄積された成果を広く発信し、地域連携および地域を舞台とした教育や地域を対象とした研究を促進することを刊行の目的としています。

かつて本学経済学部教授であった田村正夫先生（理学博士）は、その著『商業地域の形成—首都通勤圏北西境—』（博文社、1976年）において、坂戸市・毛呂山町・越生町・飯能市の商業を詳細に調査され、その地域形成を地理学的に分析なされました。また、田村先生の授業でも、大学周辺地域を題材に、地域の形成が講義されていました。

このように、本学では開学してからかなり早い時期より大学周辺地域を対象とした研究・教育がなされてきており、その伝統は今後もさらに発展的に継承していきたいと思えます。こうした意味で、地域連携センターはその支援機関として重要な役割を担っていく必要があります。本紀要もまた本学の地域活動・研究の発展に寄与していく重要な責務を負っていると考えます。

さて、紀要第3号は、論文をはじめ、地域教育実践報告、地域連携活動報告、地域調査報告、講演録、地域情報、地域活動ノートのカテゴリーにわたって全18編もの原稿を収録することができました。これは、本学の地域研究・地域活動がますます活発化してきていることを表していると思えます。特に、今号の執筆者は、全ての学部・短期大学の教員・学生、そして事務職員および退職者からなっており、多様性をもった研究・教育が行われていることもうかがわれます。収録された原稿からは、コロナ禍が続く中でも、さまざまな創意工夫をもって地域を対象とした研究・教育・活動が行われていることを知ることができ、地域活性化を研究・教育する教員の1人としてとても刺激になります。

なお、地域研究・地域学は、多様かつ学際的アプローチで分析されることが多く、その学術論文の審査体制を構築・継続することが困難であったため、地域連携センター運営委員会および紀要編集委員会での議論を経て、今号からは査読論文の募集は停止させていただくことになりました。しかしながら、このことにより、本紀要の学術性が低下したというわけではありません。むしろ、本紀要がより自由かつ大胆でオリジナリティあふれる研究の発表の場になって欲しいと期待しております。

2023年3月 編集長 庭田文近

城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要第3号編集委員会
編集長 庭田文近（地域連携センター副所長・現代政策学部教授）
高尾浩一（地域連携センター所長・薬学部教授）
奈良博恵（地域連携センター事務長）
渡辺沙織・植木さやか（地域連携センター事務員）

地域と大学——城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要 第3号

令和5年3月31日 発行

編集者 城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要編集委員会
発行者 城西大学・城西短期大学地域連携センター
印刷者 有限会社 東京工芸社
発行所 城西大学
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-286-2233 (代)
〒350-0295

Printed in Japan ISSN 2436-2336(Print) 2436-2530(Online)
©2023 城西大学